

海津市まちづくり委員会「第2回安全・安心まちづくり検討分科会」会議録

開催年月日	平成22年12月3日（金）		
開催場所	海津市役所 海津庁舎 「委員会室」		
分科会委員定数	17名		
開 会	午前10時10分		
閉 会	午前11時30分		
出席者	○分科会委員		
	公募市民	大 倉 金 次	
	公募市民	白 井 春 幸	
	NPO 法人 セーフティポートコミュニティ平田	丹 羽 公 成	
	南濃北部地区防犯パトロール隊長	藤 田 良 博	
	海津地区防犯協会副会長	牧 野 光 子	
	海津市自治連合会代表	宮 脇 信 幸	
	海津市社会福祉協議会	水 谷 英 基	
	海津市更生保護女性会代表	中 島 雅 子	
	高須生活学校代表	加 藤 佳余子	
	総務課	伊 藤 裕 紀	
	学校教育課	吉 田 太	
	福祉総務課	高 橋 豊	
	予防課	加 賀 誠	
	海津警察署 生活安全課長	木 澤 博 孝	
	岐阜経済大学教授	鈴 木 誠	
	○事務局 企画政策課 課長	中 島 哲 之	
	〃 係長	後 藤 政 樹	
	〃 主任	毛 利 卓 司	
欠 席 者	NPO 法人 海津おやじの会	樋 口 幸 二	
	海津地区交通安全協会長	堀 田 行 雄	

会議次第	1. あいさつ	
	2. 防犯ガラスについて	
	講師：岐阜県防犯設備協会	山田康雄 氏（山田硝子商事(株)）
	3. グループワークの実施	
	4. その他	
	5. 講評	
	6. 閉会	

会議録（要約）

事務局	みなさんおはようございます。 これより、海津市まちづくり委員会「第2回安全・安心まちづくり検討分科会」を開催させていただきます。 会に先立ちまして、宮脇会長より一言ご挨拶をお願いします。
会長	（会長あいさつ）
事務局	ありがとうございました。 それでは、次第に基づき、防犯ガラスについてに入ります。 本日は、岐阜県防犯設備協会より山田硝子商事(株) 代表取締役 山田康雄様を講師にお迎えし、「防犯ガラスについて」ご説明を頂きます。 なお、本日は説明を聞いた後、実際に防犯ガラスの強度について体験して頂くことになっております。 それでは、山田様よろしくお願いします。
山田講師	みなさんおはようございます。 まず、はじめに岐阜県防犯設備協会について説明させていただきます。 今から4年ほど前に設立をしました。 ガラス屋、鍵屋、防犯設備業、防犯機器を取り扱っている会社、電気屋、メンテナンスをしている会社が集まり一つの団体をつくっています。 防犯機器の普及等・促進活動を通じまして県民意識の向上を図っているところです。 本日は、ガラス業である私の方から「防犯ガラス」について説明をさせていただきます。 なお、本日は理事である私と事務局長である栗田より説明をさせていただきます。 お手元の資料に基づき説明をさせていただきます。 （山田硝子商事(株) 山田康雄 氏 説明） 資料・・・「家族を守るための防犯ガラス講座」 説明は以上です。 続きまして、防犯ガラスの強度について実際に体験して頂きます。 準備が出来るまで、しばらくお待ちください。 （ガラス準備） 本日は、2セット用意しております。男性1名、女性1名の方に実際にガラスを割って頂きたいと思います。 本日割って頂くガラスは4種類ございます。 一つは単板ガラスです。一般家庭に使用されているもので5mm のものです。 これは、簡単に割れます。 （単板ガラス 割る）

簡単に割れます。跡形もないです。

次は、網入りガラスです。

これは、6. 8mm です。中に網が入っていますが、これは防犯ガラスではありません。

(網入りガラス 割る)

割れています。

問題は中の網が割れているか見てください。

網が跡形もなく、簡単に切れています。

穴がこれだけ空いていることは、十分指が入ります。

指が入るということは、クレセント錠をはずすことができるということです。

網が入っているので全落下はしませんが、網があいてしまうことを覚えておいてください。

続きまして、強化ガラスです。

学校の体育館でボールとかが当たっても割れないガラスです。

普通ガラスの3倍から5倍強度があります。

(強化ガラス 割る)

強化ガラスというのは、面は強いですが、端は弱いです。

先ほど、こじ破りというやり方を説明させていただきましたが、こじ破りをやられたら一発です。

強化ガラスの特徴というのは、バラバラになってしまいます。

先ほどの1枚ガラスの場合は、万が一割れたと場合、多少まわりに残っています。

しかし、強化ガラスの場合は、全破損しますので開口部が開きます。

最後に、防犯ガラスです。

防犯ガラスには、マークがありシールが必ず1枚貼ってあります。

ハイエンド60ということで、1. 5mmの幕が貼ってあります。

(防犯ガラス 割る)

割れることは割れます。ただ、穴が開いていないです。

貫通していません。

5分間叩いていただいても、貫通しないです。

また、叩いているとき、非常に大きい音がします。これだけの音がしますとさすがに分かります。

どれだけ時間をかけるかが最終的に防犯ガラスに求められている機能かと思います。強度ではなく時間が問題ですよということです。

こういったガラスを適材適所に使用するということです。

分かりやすいのは、勝手口が一番いいかと思います。

何かご質問ありますか。

A 委員	ちなみにこれは、いくらくらいするものですか。
山田講師	勝手口のドア 1 枚替えた場合だと、だいたい 2 7, 0 0 0 円くらいです。
B 委員	ハイエンドには 3 0、6 0、9 0 とかあり、一般的には 6 0 だと説明を受けましたが、どこが違うのでしょうか。
山田講師	ガラスの中のフィルムの厚みが問題なんです。 ガラスの厚みではないです。
C 委員	焼き破りには強いのですか。
山田講師	残念ながら、焼き破りには弱いです。 焼き破りに強いのは、スーパーというものがあります。 スーパーは、トリカボネード材を使ってあり、燃えないです。 ガスバーナーで焼こうとしても大丈夫です。 一般的には、焼き破りではなくドライバーによるものが多いから、ハイエンド 6 0 を勧めています。 なお、補助錠を何箇所かに取り付けることも大事です。
B 委員	二重サッシをしておりますが、どうなんですか。
山田講師	二重サッシは、抑止効果はあるかと思います。 1 枚割ってもまた 1 枚あるということで、心理的な抑止効果はあるかと思いますが、直接的な防犯効果はないです。
B 委員	2 枚割るのに 5 分はかかるのではないですか。
山田講師	2 枚割るのに早いです。プロですから。 方法としては、うち窓に補助錠をつけることをお勧めします。 毎日開け閉めするところ、ほとんど入らない部屋については、防犯ガラスでなくていいです。2 重窓でもいいです。ただし、そこには補助錠をつけることです。 鍵がある補助錠がいいです。 ただ、毎日出入りするところは鍵はない補助錠がいいですが、出来れば防犯ガラスがいいです。 防犯ガラスだけではなく、補助錠をつけるとか、防犯ブザーをつけるなど、第 2、第 3 の対策をすることが自主防衛として大切です。
D 委員	防犯ガラスで割った後、中のフィルムは千枚通しで穴はあけることができますか。
山田講師	千枚通しであけることはできます。

D 委員	そうしますと、クレセント錠をまわすことは出来ますか。
山田講師	出来ます。 そうであれば、スーパーとなります。 ただ、法律の問題なのですが、まちなかでポケットにドライバーとか持っててもだめです。職務質問されます。それほど厳しくなっています。 今、警察の方も法律的にそうになっています。 ガラスに関しては、完璧ではありませんので、防犯ガラスに補助錠です。 ただ、威力はありますので、場所に応じて使い分けることです。 以上で、防犯ガラスの体験は終了とさせていただきます。
事 務 局	ありがとうございました。 ここで、5分間の休憩をさせていただきます。 開始は、11時15分から再開します。 それでは、休憩とします。 (休憩)
事 務 局	会議を再開させていただきます。 これより、グループワークを行って頂きます。 本日は、地域安全マップを作成して頂きます。 「地域安全マップ」とは、犯罪が起こりやすい場所を表示した地図。言い換えれば、犯罪に弱い場所を洗い出した地図であります。 なお、使用して頂きます図面は、各グループ机の上においてあります「岐阜県警察 犯罪発生マップ」を使用します。 このマップを使い作業をして頂きますが、作業をしていただく前に、海津警察署 生活安全課 山口係長様より「岐阜県警察 犯罪発生マップ」について、このマップはどういったものなのか、また、海津署管内でどのような事件があるかなど簡単に説明を頂いた後、グループに分かれ作業をして頂きます。 それでは、山口係長様よろしくお願いします。
山口係長	(海津警察署 山口係長 説明)
事 務 局	ありがとうございました。 この後、本来であればグループに分かれ作業をして頂く予定でありましたが、作業して頂く時間がなくなったため、次回に行って頂くこととします。 なお、次回は委員の方々において、防犯パトロールなどの活動を通じて気付いたことや犯罪の起こりやすそうな場所を図面に落として頂きます。
事 務 局	たとえば、落書き、ゴミ、放置自転車、暗い所、見通しの悪い所といった防犯上怪しい所、地域の環境に関する問題点などです。 そういった所を、次回までに準備の方よろしくお願いします。

事 務 局	それでは、ここで、防犯ガラスや海津警察署 山口係長の説明を受けまして、鈴木先生より講評を頂きたいと思います。 鈴木先生お願いします。
鈴木教授	今日のご苦労様でした。 今回、第2回目をどのような形で運営したらいいかを事務局と色々な打ち合わせをしました。 その中で、私も今日のような防犯ガラスの体験授業は今回で3回目です。 やってみると、防犯ガラスというものの優位性がどういう場面で役に立つか、実際にどれ位の役立ちなのか、他の我々が日常的に使っているものとの差がよくわかるということと、防犯ガラスは絶対的なものではないということ。 今日、山田さんが非常に良いことを言ってくれたのは、これは侵入を防ぐものではなく、侵入を遅らせるものだという話をしてくれました。 ですから、その中には施錠との組み合わせであるとか、周りの気遣いであるとか、ハードのものだけでなくそこに我々が隣のことであるとか自分のことはもちろん地域のこと、色々な気付きあい、支えあいを更に持つと防犯ガラスというものによる犯罪抑止というものが非常に効果的という話をしてもらいました。 こういうことも体験してみないと分からない、まず体験しようということで、今日はこういう企画をまず最初に導入してみたということです。 やはり、非常に効果的なので皆さんもすでに地域の中で色々な防犯活動をやってみえると思いますが、今日のセットも市販もされていますので、地域で色々な体験ができると思います。体験を行う前には講習の資格講座もありますので、このようなことも習うと更に地域の防犯活動の普及にも役立つと思いました。 今日、これをまずお見せしたというのは、防犯パトロール活動を始めとして地域の安全安心まちづくり活動がすごく熱心なのですが、必ずその活動の前提としては出来るところからやりましょうという考え方があります。 比較的自治会の範囲でやるとか、子供会の範囲でやるとか、自治会あるいは学区コミュニティぐらいの範囲というところが動きの前提としてあるのですが、そのことと実際の犯罪情勢とかミスマッチをおこしているというケースがよくあるのです。 何も起きていないところで動いても、それは抑止にはなりますが、効果はなかなか生まれないという可能性があります。やはりどうしても我々の目の届きにくい、支えの関係の弱いところ、色々な問題があるところについてはやはり犯罪がたくさん起きる、そういったところをこれからどう解決していくのか、防犯コミュニティを作っていくのが大事になります。 ここでお集まりの皆さんは、色々なご経験をもってみえますので、身近な所でできる事と併せて、課題が多い所でどううまくネットワークしていくか、呼び掛けていくことが大事になります。 そうすると、海津市の中で近々で街頭犯罪等が起きている現状を地図上におとして正確に把握しておくことが大事になります。 この事と、皆さんの日常の関心事がどこにあるのか、どこで活動しているかを照らし合わせていくと、犯罪が起きているからしっかりその地域を取り組んでみえるところと、一生懸命やってみえても犯罪が起きていないところ、犯罪が起きているところでみなさんの活動ができていないところがあります。

事 務 局	そのようなことをはっきりと把握しようということで、地図を用意しました。 このように、地域の総点検を防犯という観点で行い、現状を把握したうえで、街頭犯罪の発生するエリアがどうしてこういう問題が起きるのか、その原因を皆さんで話し合って防犯パトロールの繋がりを持って、どんな活動をしていったらいいのかという組み立て方をしていくことが、安全安心まちづくりをめぐる住民のネットワーク活動としてとても大事なことだということが、私達も色々な取り組みをする中で分かってまいりました。 この委員会としては、安全安心まちづくり活動を色々な経験交流するだけではなく、実際に海津市内のどこでどんな街頭犯罪が起きているのか、そのことと皆さん自身の取り組みとがどうマッチしているのかマッチしていないのか、マッチしていないところがあるとすれば、これからそここのところの問題解決に向けてどう繋がりを作っていくのか、あるいは、問題意識の喚起をしていくのかということをごここで話し合っ、住民の皆さんから同じ住民の皆さんに呼びかけをしていく運動を起こそうじゃないか、というのが一つの狙いとしてあったのだと思います。 今日はそういうとっかかりで、このあと実際に会長さんが一生懸命お話をされているような事をやりたかったのですが、時間がないので、今回は会長さんのご指導のもとで二つのチームに分かれて、これを前提としながら皆さんの取り組みがどこで行われているのか、また新たな危険個所の指摘を出し合っ、現状のしっかりとした把握をして、住民のレベルから防犯コミュニティを作っていくための取り組みの内容や方法を確認しあっていくことが大事だと思いました。 今回は、皆さん自身の取り組みがどこで行われているのか、情報を持ち寄って紹介をしあうことが出来ることを期待しています。今日はありがとうございました。 ありがとうございました。 最後に事務局より今後のスケジュールについてご連絡します。 次第の一番下に明記してございますが、勝手ながら次回を1月21日、第4回目を3月4日、両日とも午後1時30分～の開催と考えています。 委員におかれましては、予定をして頂きますようお願いいたします。 なお、場所につきましては市役所もしくは海津総合福祉会館「ひまわり」を予定しています。 それでは、以上をもちまして「第2回安全・安心まちづくり検討分科会」を閉じさせていただきます。 本日は、ありがとうございました。
--------------	---